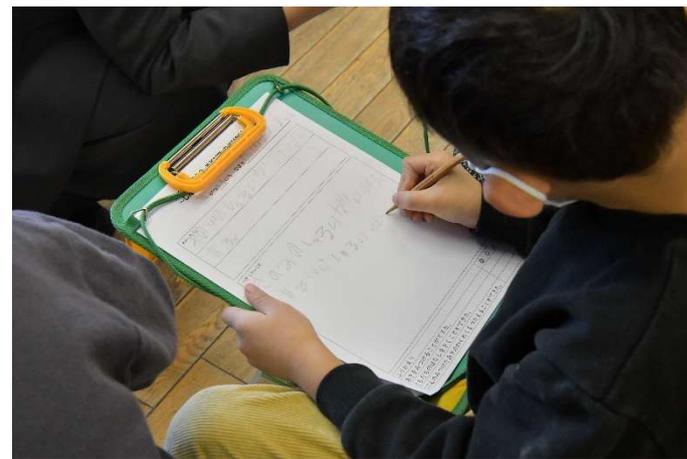


1年生

1年1組 わくわくあきのあそびであそびたい! ~しんりんこうえんのあきとなかよし~

森林公園にある身近な秋の自然を利用して遊んだり、観察したりする活動を通して、秋の自然の様子や四季の変化に気付き、友達と楽しみながら遊びを創り出したり、季節の変化を取り入れて自分の生活や遊びを豊かにしていく姿を目指しました。

本時では、楽しかった秋の遊びについてのエピソードを伝え合い、「秋の森林公園には木の実や葉っぱがたくさんあって楽しい」と気付いたり、「今日はどんぐり笛作りに夢中になってしまったけれど、友達の話聞いて、次はどんぐりごまを作りたいと思った」「木の実の数を数えて小さい音のマラカスを作ってみよう」という思いをもったりする姿が見られました。講師の寶来先生からは、「木の実の種類や数が異なるけん玉やマラカスを比較して試したことで、遊びを楽しくする工夫を考える姿が見られた」と価値付けしていただきました。



1年2組 かぞくとじぶんもっとなかよし ~みんなのこにこだいさくせん~

こにこ作戦での取り組みやそれに対する家族の反応を伝え合う活動を行いました。自分のこにこ作戦の効果について考えたり、家族の思いや願いについて想像したりすることで、自分の取り組みと家族のこにこのつながりに気付き、これからの作戦の内容を改めて考え、家族との関わりを増やしていこうとする思いをもつことができるような授業をしました。

子どもたちからは「かぞくがこにこになるように、成長した姿を見せたい。」「もっともっとなこにこ作戦をしたい!」という振り返りがありました。講師の先生からは「子どもの実態に合わせた方法で発言を引き出した。」と価値づけしていただきました。



1年3組 えがおいっぱいやさしいチャレンジ～みんなのにこにこ大きくせん～

にこにこ大作戦での日頃の取り組みやそれに対する家族の反応を伝え合う活動を行いました。子どもたちがにこにこそれぞれ5つの名前をつけ、自分のにこにこがどれに分類されるのか整理をしていく中で、自分のにこにこ大作戦が家族のにこにこにつながっているのか、家族の思いや願いに合っているのかを考えました。自分の取り組みと家族のにこにこのつながりに気づき、これからも継続してにこにこ大きくせんを行い、家族との関わりを増やすこと、自分がいるだけで実は家族はにこにこになることに気付くよう授業をしました。

子どもたちからは「かぞくがにこにこになるように、自分もにこにこしたい。」「これからもにこにこ大作戦を考えてみたい!」という発言がありました。講師の先生からは、全員のやったことを出したい気持ちも分かるが、もっと振り返りの時間をたっぷりとるために、時間配分をより考えるようご指導いただきました。

